

# 北見工業大学

## 国際交流センター ニュースレター

2014年8・9月 第100巻

### 目次

■ ユース・オブ・ワールド 2014 夏……2

■ 夏期語学研修 (ドイツ・オーストラリア) ……3



# ユース・オブ・ワールド

8月10日（日）～12日（火）

国立大雪青少年交流の家



## 国立大雪青少年交流の家主催の「ユース・オブ・ワールド」に 本学から6名の短期留学生が参加しました！

国立大雪青少年交流の家主催の「ユース・オブ・ワールド」が開催され、日本人の高校生や大学生、社会人など様々なバックグラウンドの方が参加し、「グローバルな視点を備えた次世代リーダーの育成を図る」という趣旨の下、自然体験や他者との交流を行う活動が行われました。本学の6名の留学生たちも、参加者とお互いに協力し合いながら、2泊3日の行程を無事終わりました。留学生たちは、ラフティングやトレッキング、アウトドアクッキングなど、普段できない活動に大満足の様子でした。今年12月に国立日高青少年自然の家にて、第2回目が開催されるということで、参加者たちは、そこでの再会を約束していました。





## ドイツ語研修に、日本人学生11名が参加しました！

参加者たちは、平日は、フライブルク大学でドイツ語およびドイツ関連の授業を受け、休日には、スイスなどへの課外見学を楽しみました。充実した研修内容について、参加者が語ってくれました。

ドイツ・フライブルクはずっと歩き回りたくなる街でした。建物自体が日本と異なるのもありますが中心地は車が通らず、人々が行き交い、市が開かれていたり、子供たちが小さな水路で舟を浮かせていたり見慣れない光景に胸が弾みました。ドイツ語の講義は発音や聞き取りが主であり、すぐに使う場面や環境にいるので沢山使えるようにと頑張りました。日本では滅多に出来ない様なども健康的な生活をする事が出来ました！（電気電子工学科2年 栗山菜摘）

僕はこのドイツ語学研修でとても多くのことを学びました。日本とは人との接し方が少し違い、初対面でもとてもフレンドリーに話してくれました。ドイツ語で会話することは難しかったけど、英語での会話ができただけで、とても嬉しかったし、これから英語の勉強をしていく上で、大きな自信になりました。今回の研修を通じてこれからも英語やドイツ語を頑張っていきたいです。（機械・社会環境1年 福元涼太）

今回の語学研修が僕にとって欧州に行くのが初めてでした。現地でドイツ語の授業と日常生活を送ることで日常会話や買い物の際の注文などはできるようになり、三週間で全く知らない言語の国でも生活できるということを学びました。世界遺産である、ノイシュバンシュタイン城の見学や、ドイツだけでなく、フランス、スイスへも観光へ行くことができました。日本にはない西洋独特の街並みや、雰囲気を経験できました。（機械工学科2年 工藤康平）

ドイツすごく楽しかったです。行く前は海外に少し不安があったけど、引率のナタリー先生が優しく、困ったときはだいたい助けてくれるので大丈夫でした。外国の友達もできて、今はFacebookやchatアプリを通して交流しています。また、ドイツの料理はすごくおいしかったです。白ソーセージ、カルボナーラ、ケバブ、どれも絶品でした。毎日が充実した大満足の3週間でした。（情報電気エレクトロニクス1年 山本雄太郎）

ドイツでの3週間は長いようで短いものでした。出発の前はドイツに行くという実感が湧かず、帰ってきてからは夢だったのではないかとさえ思っています。最初は文化や言語の違いに戸惑いを感じたこともありましたが、その違いを楽しむももっと深く知りたいと思うようになっていました。また3週間滞在したフライブルクの環境対策を街づくりの視点で説明してもらったことはとても印象深かったです。この街がさらに好きになりました。この経験を今後活かしていきたいです。そしてまた絶対ドイツに行きます。（電気電子工学専攻1年 野崎麻衣）

## ドイツ語研修

8月8日（金）～31（日）

ドイツ・フライブルク

平日は日本語を話せるドイツ人の先生からドイツ語を教わりました。初めは言葉が通じなかったですが、最後に少しはドイツ人の方などとコミュニケーションを取ることができました。メルセデスミュージアムやポルシェミュージアムへいきました。そこでは、会社の歴史や理念、車の歴史、エピソードなどを知ることができました。これから勉強してもっとドイツ語を覚えたいと思いました。(機械・社会環境系1年 原優也)

私は今回の語学研修で初めて海外へ行きました。ドイツで3週間も生活できるのかと不安でしたが、ドイツの方々はとても親切で、とても楽しく過ごすことができました。景色は写真で見たものよりも、想像していたものよりも綺麗で感動しました。また、様々な種類のパンやソーセージ、パスタはとても美味しくて、またドイツへ行きたいと思うほどです。私にとって、この3週間は忘れられない思い出になりました。(情報電気エレクトロニクス系1年 桜井翔)

今回のドイツ研修は初めて海外に行ったので、うまく会話できるか心配でしたが先生方のご教授のおかげであいさつや買い物や食事をするときに使う程度の会話なら話せるようになりました。コミュニケーションをとることは容易ではありませんでしたが少し自分のドイツ語に自信を持つことができました。また、ノインシュバンシュタイン城やスイスやフランスの観光も日本では決して味わえない西洋の雰囲気を感じたり見たりできたのでとてもいい経験になりました。(電気電子工学科3年 前田祥徳)

私は三週間のドイツでの生活でたくさんの貴重な体験をすることができました。ドイツ語は、会話中の単語を所々聞き取れるようになったくらいで、お世辞にも上達したとは言えませんが、毎日の授業はもちろん、町に出るだけでも文化や風習などの様々なことを学ぶことができました。外国での生活は言葉や常識の違いから、不安を感じることもありましたが、現地の人の親切や先生のフォローのおかげで勉強も観光も楽しむことができました。(情報システム工学科2年 野村咲生子)



# 英語研修

8月23日（金）～9月28日（日）  
オーストラリア・ブリスベン

## 今年度初めて、オーストラリア・ブリスベンでの英語研修が実施されました！

4名の日本人学生が、ブリスベンでの英語研修に参加しました。クィーンズランド大学での英語授業や、課外見学および観光の様子について、参加者の声をお聞き下さい！



生活はもちろん、授業も英語で行われ、かなりの時間英語にふれることが出来ました。また、先生・友達にも恵まれとても楽しく授業に積極的に参加でき、学習に励むことが出来ました。聞き取りを中心に、英語の力が上達した様に感じます。英語圏で生活していける自信も少し付き、生活したいと強く思うようになりました。もちろん、学習のみならず課外活動にも積極的に取り組みました。そこでは、現地の人の優しさに触れることも出来ました。当たり前ではありませんが、このような刺激的な生活は、日本ではなかなか出来ないと感じました。（社会環境2年 津川渚奈）

オーストラリアでホームステイをすることによって現地の様々な文化を体験できました。特に私が驚いたのはお店の閉店の早さです。飲食店以外では基本的に夕方5時ごろには閉店します。これは誰でも早く帰宅し、家族との時間を長く過ごせるようにするためだそうです。コミュニケーションをとっても大切にしている証拠だと思いました。他にも、寝る、着替える以外では部屋のドアは開けておくなど、家族の状態を確認できるように配慮した行動なども見られました。（電気電子2年 大西輝弥）



私は、約5週間オーストラリアに語学研修に行ってきました。私は5週間も海外で過ごす経験を、今までしたことがなかったので不安なことが多かったです。買い物や観光、食事など自分がオーストラリアに行く前は不安でしたが、行ってみると自分の英語だけでしゃべり、注文し、観光をすることが出来てとても楽しかったです。この5週間はとても短く感じられ自分にとって、とても素晴らしい経験をできた5週間だと思います。（機械工学科2年 中垣颯）

いろんなことがあった中で自分がオーストラリアで一番感じたことは、自分の英語のスキルが圧倒的に足りていないということです。レストランの店員の人やタクシーやバスの運転手の人など、地元の人々の英語はほとんど聞き取ることが出来ませんでした。簡単な英語であってもなんとなく言っているのかわからなかったり、うまく伝えられなかったりしたのがとても悔しかったです。この悔しい気持ちが今回の語学研修に行った一番の収穫だと思います。（機械・社会環境系1年内海竜之介）



# 英語研修旅行

8月28日(木)～9月13日(土)  
オーストラリア・シドニー

## 高崎健康福祉大学の学生と共に、本学から5名の学生がシドニーでの英語研修旅行に参加しました！

私は今回初めて海外へいきました。最初は英語を聞き取れないし話せないし、会話することも大変でした。しかし日が立つにつれ、耳が慣れて大まかには聞き取れるようになり、話せるようになりました。日本語と違い堅苦しくないため、英語のクラスの人ともすぐに打ち解けることができ、毎日楽しい時間を過ごすことができました。また、自由時間も多くあり、観光もたくさんでき、とても充実した2週間でした。(バイオ環境化学2年 水谷友香)

オーストラリア・シドニーで過ごした2週間は新しい出会いの連続でした。一つ目は高崎健康福祉大学の皆さん、二つ目はホストファミリー、三つ目は多国籍なクラスメイト達との出会いです。2週間はあっという間に過ぎ、シドニーを発つときは名残惜しさでいっぱいでした。高崎の学生達とのシドニー観光。ホストファミリーとのディナー。クラスメイトとのBBQ。どの思い出も私の人生でかけがえのないものとなりました。(マテリアル工学専攻2年 印藤佑一)



【今後の予定】

10月22日(水) 留学生歓迎会 於：食堂

10月30日(水) インターナショナルCアワー 於：ミーティングルーム2

11月28日(金)～29日(土) 工場見学